

出題意図について：

問題文の論旨を適切に理解し、理解した内容をもとに、自身の考えを説得力をもって論述する力を問う。

採点の方針

- ① 答案内容の論述としての起承転結、論旨と筋道立ての論理の明確さ。
- ② 共感とは常識的に好ましい感情と理解されているが、スポットライト効果という限界があり、共感に基づく支援行為が必ずしも公正な判断とは言えない場合があることを問題文から読み取ること。
- ③ 共感による支援行為の限界を乗り越えるには、スポットライト効果を避けるために個別の支援対象から一歩引いて、何が最善かを客観的（理性的）に見極める必要があるという著者の主張を問題文から読み取ること。
- ④ ③を踏まえつつ、限界を乗り越えるための方途を具体的に述べていること（想定されるのは、社会においてはメディアの過度な個人への焦点化を避け多角的な情報を伝えること等。学校教育においても同様に、身近な学級の問題や、教科で社会問題を教師が扱う際に、共感を強調する方法に頼るだけでなく、多角的な情報を検討する機会を提供し、理性的で公正な判断が出来るように促すこと、等）。